

## 地点によるチェーホフ四大戯曲連続上演

Fukui

原作 アントン・チェーホフ / 翻訳 神西清

## 地点第16回公演 ワーニャ伯父さん

演出 三浦基

2008年11月14日(金)19:30

\*受付開始は開演の60分前、開場は開演の15分前

\*上演後ポストパフォーマンストークあり

出演 三浦基(地点代表)、中笠コウシ(NPO法人 福井芸術・文化フォーラム 事務局長)

## 会場 福井市文化会館ホール特設舞台

福井市春山2-7-1 0776-20-5010

○「西公園前」バス停下車すぐ

○JR・えちぜん鉄道「福井駅」からタクシー5分

○北陸自動車道「福井インター」から約20分

\*会館前の駐車場は台数に限りがあります。周辺の

駐車場ならびに公共交通機関をご利用ください。



料金 日時指定・全席自由席・整理番号付

一般前売2,500円 当日3,000円

学生前売2,000円 当日2,500円 \*要学生証提示

フォーラムメイト2,200円 \*前売のみ、NPO法人 福井芸術・文化フォーラム事務所のみ取扱

チケット発売 2008年9月12日(金)

チケット取扱

電子チケットぴあ <http://t.pia.co.jp/>

0570-02-9988 (オペレータ対応) 0570-02-9999 (Pコード:387-556)

NPO法人 福井芸術・文化フォーラム 0776-23-6905 (10:00-18:00平日のみ営業)

地点 075-761-4636 [ticket@chiten.org](mailto:ticket@chiten.org)

お問合せ

地点 075-761-4636 <http://www.chiten.org/>NPO法人 福井芸術・文化フォーラム 0776-23-6905 <http://geibun.info/>

【地点によるチェーホフ四大戯曲連続上演】  
2007年から地点が取り組む本シリーズは、今後もレパートリーとして各地点で上演されていきます。

今年度の上演予定  
2008年7月5~13日  
大阪 芸術創造館

三人姉妹／狂の園  
2008年10月11~22日

東京 吉祥寺シアター

ワーニャ伯父さん  
2008年11月8~29日

金沢・福井・福岡・宮崎ツアー

チェーホフの四大戯曲のうちで、「ワーニャ伯父さん」は最も地味な作品です。ワーニャという人物が、今風に言えば、中年期のうつ病と診断できるような状態にあるからです。この男の愚痴を永遠に聞き続けなければならないような、おそろしく哀しい気分になせられます。しかし、演劇というものは残酷で、彼を愛すべき人間として捉えると、すぐに説教くさくなってしまふ。ゴミのように、いやゴミ以下にワーニャをいさせること。そこまで人間を蔑むことによつて、初めて見えてくるものがあります。本当の「暇」についてです。暇な時間を徹底的に扱ったこと。むしろ愛すべきはこの時間そのものにあるのではないか。私はこれを時間の無駄遣いの果ての、人生の希望の劇と考えています。

三浦基

アントン・チェーホフ(1860~1904) ロシア南部の港町タゴログに生まれる。16歳のときに家が破産、モスクワ大学医学部入学後から家計を支えるため、短編小説や雑文を書くようになる。その後、人気作家に、晩年には劇作に主力を注ぎ、生活のなかで俗物化して、い人間への批判と人生の意味への問いかけを、その台詞のうちに描いた。

地点 2005年、活動を本格化するにあたり東京から京都に地点を移す。劇作家が演出を兼ねることが多い日本の現代演劇において、演出家が演出に専念するというスタイルが独特。言葉、身体物の質感、光、音などさまざまな要素が重層的に関係する演劇独自の表現を生み出すために活動している。(地点によるチェーホフ四大戯曲連続上演)シリーズが高く評価されており、「狂の園」では代表作の三浦基が文化庁芸術祭新人賞を受賞した。

演出=安部聡子 石田大 大庭裕介 小林洋平 谷弘恵

演出助手=村川拓也 照明=吉本有輝子 映像=山田晋平 舞台美術=杉山玉+菊屋 音響=堂岡俊弘 衣裳=堂本敦子 舞台監督=鈴木康郎 宣伝美術=納谷衣美 制作=田嶋結菜

主催=地点/NPO法人 福井芸術・文化フォーラム 後援=福井市教育委員会 (財) 福井県文化振興事業団 福井新聞社 NHK 福井放送局 FBC 福井放送 福井テレビ FM 福井 福井街角放送 月刊 URALIA

京都芸術センター制作支援事業 助成=平成20年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動重点支援事業) THE SAISON FOUNDATION EU・ジャパンフェスト日本委員会

【表面写真】地点「ワーニャ伯父さん」ルーマニア公演 2007年5月